

第2次与謝野町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

中間案に対する意見募集結果

- 1 意見の募集期間 令和3年2月1日（月）から2月26日（金）まで
- 2 意見提出件数 11件（3名）
- 3 意見の要旨及びこれに対する計画反映、考え方

NO.	項目	意見の要旨	意見に対する反映、考え方
1	全体	計画が具体的に実行に移され、素敵なまちになることを切望する。	本計画に基づく取組を推進していきます。
2	全体	「世界首長誓約／日本」に署名しているのではないかと？	第1章に文言等を挿入しました。 また、第5章に「取組の方策（適応策）」を追記しました。
3	表紙	表紙の写真はたいへん素晴らしい。この農地、環境を未来につないでいこう。	ありがとうございます。 美しく豊かな農地や自然環境を未来につないでいくため、各種施策を推進していきます。
4	P.3	イメージ図に小水力発電らしきものがあるが、分かるように吹き出しなどで工夫された方がよい。 住宅に薪ストーブもあるようだが、薪小屋に丸太ではなく薪が積み上げられている方がよい。	当初はイメージ図の中に説明文を挿入することを検討していましたが、見づらくなることが危惧されたためイメージ図のみとしました。 このイメージ図は、2050年の与謝野町の姿を思い描いていただくため「よさの百年の暮らし委員会（愛称：みらいふ）」が制作されたものです。 修正をすることはありません。 ご覧いただいた方によって、様々なイメージや思いがあることは大変喜ばしいことです。
5	P.10	「総合計画」と「ひと・しごと・まち創生総合戦略」は並列ではない。	図を修正しました。
6	P.16	CO ₂ 削減の矢印を2050年でゼロに向かうよう加えてほしい。	矢印を追記します。
7	施策	町独自の支援策として、EV自動車の購入支援、薪ストーブの導入・維持に係る支援策を創設してほしい。	町の財政状況も勘案しながら、必要な支援策を検討・実施していきたいと考えています。

8	施策	<p>これまでの施策では、住民と行政が一体となって取り組んできたと思われるが、脱炭素社会を目指すとなると、行政や町民の事業レベルから、企業に参画してもらうことが非常に重要で、官民連携を強化した脱炭素の取組を推進してほしい。</p>	<p>令和3年度以降は、本計画に基づき産学官民等の連携の取組を推進していきたいと考えています。</p>
9	施策	<p>エネルギーの地産地消率を数値化し、具体的にどこまでやるのか示してほしい。</p> <p>2050年に向けた施策のロードマップがほしい。</p> <p>計画で記載できなくても、今後作成していくような記載がほしい。</p>	<p>統計データで数値化することが難しく、国策であるエネルギー政策の動向が見えない状況です。</p> <p>「2050年に温室効果ガス排出量実質ゼロ」に向けて各種取組を実施しながら、しかるべき時期に計画の進捗状況を勘案し、時点修正を加えていきたいと考えています。</p>
10	施策	<p>再エネでできた電力の用途を明記されたい。</p> <p>個人や企業判断だが、町として何をグリップするのか、設置率、売電率、グリーン電力の購入率、地産地消率など。計画の進行管理について、何をベースにやるのか記載されたい（KPIが不明）。</p>	<p>P.18以降に取組の方策を記載していますが、自然エネルギーについては織物業や農業への利用を挙げています。</p> <p>また、P.3のイメージ図のように、再エネ電力が家庭・学校・事業所・農地・街灯などあらゆる場面で利用される町の将来像を描いています。</p> <p>計画改訂作業に併せて、今後の進行管理を想定したアンケートを実施しています。アンケート結果に基づき進行管理（例えば、評価指標：太陽光発電設置率・ペアガラス率・CO₂ゼロ電気購入率など）をしていきたいと考えています。</p>
11	施策	<p>町が企業に出資して参画する新電力会社を立ち上げ、地域電力事業をやってほしい。</p>	<p>地域電力事業については、既に検討を始めています。京都府との関係もありますので時期は未定ですが、前向きに進めていきたいと考えています。</p>